



さらがい ふみ
星田7丁目 在住
☎894-2835



藤田 まり
私部6丁目 在住
☎397-3027

日本共産党 一般質問

必要な教員の確保について要望



交野市では新年度、小学校1～3年生まで30人以下学級を拡充します。きめ細やかな教育をめざす、府下でも先進的な取り組みです。

中学校（現在は40人以下学級）でも、新年度から国制度でようやく35人以下学級がスタートします。日本共産党のさらがいふみ議員は、必要な教員の確保などを要望しました。

【質問】 中学校の35人以下学級がようやく国制度としてスタートする（現在は40人以下学級）。どのように進めるのか。

【答弁】 国の法改正で、中学校の1学級の上限人数を現在の40人から35人へ順次引き下げ、令和8年度は1年生、9年度は2年生、10年度は3年生で35人以下学級となる予定。

【質問】 必要な教員や教室は確保できるのか。

【答弁】 余裕教室を活用することで問題なく運用できる。教員はこれまで同様、新規採用教員の配当に加え、市教委事務局が欠員補充の講師確保に努める。これまで年度当初の欠員はゼロを維持している。

【質問】 中学校は教科担任制となっている。35人以下学級によりクラス数が増えることで、教員の授業時数への影響は？

【答弁】 例えば35人以下学級により英語科の教員が1名増えると、英語科担当教員の授業時数は減るが、英語科以外の多くの教員の授業時数は増えることになる（クラス数が増えるため）。

【要望】 少人数学級の推進で、受け持つ授業時数が増える教員が出るのでは、手放しで喜べない。少人数学級に見合った教員の必要な配置、特に正規教員の増員を、府や国に交野市からも強く要望し、市独自でも必要な教員の配置を検討してほしい。

2026（令和8）年度 小中学校の1クラスの人数（上限）

学年	小学校						中学校		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3
交野市	30人			35人			35人	40人	40人
国制度	35人						35人	40人	40人